



# あいち性暴力対応看護師（SANE）養成プログラム 2026

## 募集要項

### 一般用



#### ◆講座概要…P 2

- 1) 教育目標・概要
- 2) 講義概要および受講を通して得られるもの
- 3) 受講対象者
- 4) 受講料
- 5) 募集人員
- 6) 開講期間
- 7) 実施形態
- 8) 修了要件および履修証明書・修了証の発行について
- 9) 出席状況について
- 10) 修了試験の内容について

愛知県の  
支援事業対象者の方は  
HPより専用の  
募集要項を  
ご確認ください

#### ◆申込から修了までの流れ（簡易版）…P 4

#### ◆受講申込みについて…P 5

- 1) 受講資格
- 2) 申込期間
- 3) 申込方法
- 5) 選考料
- 6) 選考方法
- 7) 受講者発表

#### ◆講師紹介…P 6

- 主任講師
- 担当講師

#### ◆スケジュール…P 8

#### ◆シラバス…P 9

#### ◆よくあるご質問…P10

#### お問い合わせ

SANE養成プログラム事務局

（一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター内）

<お問合せフォーム>

<https://forms.gle/7eDoiaQkQxh996716>



<SANE研修特設サイト>

<https://nfhcc.jp/sane-program2026/>



## ◆講座概要

### 1) 教育目標・概要

性暴力対応看護師(以下、SANE)養成プログラムは、性暴力被害者の多様なニーズに対するケアを総合的に提供するために、構造化されたプログラムです。米国は、SANE プログラムが定着した病院では、警察当局と直接データ連携が可能になっているため、性暴力被害者が直接警察に行く必要はなく、性感染症や緊急避妊の処方箋、医師による定期的なコンサルテーションなどが確実に提供されます。米国の国際フォレンジック看護学会(IAFN: the International Association of Forensic Nurses)は、SANE 教育ガイドラインを作成しました。2019年には、日本フォレンジック看護学会は、IAFN の協力を得て、米国SANE 教育ガイドラインに基づいて、小児、思春期、成人を対象とした内容を組み合わせた 64 時間のコアカリキュラムを提示し、日本のコースワークの基本としました。一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター(NFHCC)が提供する、「あいち性暴力対応看護師(SANE)養成プログラム」は、日本フォレンジック看護学会の認定するコアカリキュラムに沿っています。

教育目標は、性暴力被害者に、高度な専門看護実践として包括的で患者中心のケアを提供できる知識とスキルの習得です。SANE 教育コースと臨床スキルトレーニング終了時には、SANE は、急性期対応や法医学的検査、検体採取、身体所見などを記録するスキルに加えて、性感染症 (STI) やその他の非急性医療問題に関する情報、治療、紹介を提供するための知識とスキルを修得します。妊娠リスクの評価やリプロダクティブ・ヘルスサービスを含む治療選択肢や、アドボケート、児童相談所、弁護士などを含む性暴力被害対応チームと協力して作業するための知識とスキルを修得します。

### 2) 講義概要および受講を通して得られるもの

P9「性暴力対応看護師(SANE)養成プログラム 2026 シラバス」を参照

### 3) 受講対象者

本領域に興味を持っている、性犯罪・性暴力対応の活動に携わっている、または今後予定がある看護職(愛知県外の方も受講可)の方

### 4) 受講料：一般 106,000 円 (税込)

\*受講料は、指定の銀行口座へプログラム受講の決定通知を受け取り後、所定の期間内にお振込ください。

\*受講者個人での支払いはなく、法人等からの支払い、複数人分まとめた支払いの場合は、申込時にその旨ご連絡ください。

別途、ご自身でテキストの購入をお願いいたします。

◆書籍名：フォレンジック看護 ー性暴力被害者支援の基本から実践までー

◆出版社：医歯薬出版株式会社

◆定価：4,950円 (本体 4,500円+税10%)

【参考】<https://www.ishiyaku.co.jp/search/details?bookcode=710780>



### 5) 募集人員：80名

### 6) 開講期間：2026年10月3日(土)～2027年1月10日(日)

→詳細はP8「講義スケジュール」参照

## 7) 実施形態

Zoom を介したオンライン講義

および会場集合型講義(RIFCR™研修 11/20、21 のみ)

※RIFCR™研修参加は1日のみ、事務局で指定いたします。

### ①オンライン講義

- ・RIFCR™研修(11/20、21)以外の 9 日程はオンライン講義です。
- ・事前に Zoomアプリのインストールを済ませたパソコン(またはタブレット)をご準備ください。
- ・推奨環境等は下記URL・QRコードよりご確認ください。

[https://support.zoom.com/hc/ja/article?id=zm\\_kb&sysparm\\_article=KB0060761](https://support.zoom.com/hc/ja/article?id=zm_kb&sysparm_article=KB0060761)



### ②会場集合型講義 (RIFCR™研修のみ)

名古屋市内の会議室で実施します。感染症拡大防止対策として、マスクの着用や消毒等の衛生対策、換気の徹底等を行う予定です。ご協力お願いいたします。

日程はどちらも同じ内容で、指定された1日に参加ください(受講生以外の一般申込者も受講します)。

※過去にリフカー研修を受講され、修了証をお持ちの方は、申し込み時に修了証のPDF、JPEGデータを添付ください。

※やむを得ない理由で指定の日時に受講ができない場合は、事務局にご相談ください。

#### <日時および実施会場>

実施日	時間	会場(最寄駅:名古屋駅)
11月20日(金)	9:30~19:00 (昼休憩1時間)	名駅モリシタ名古屋駅東口店 愛知県名古屋市中村区名駅3-13-31 名駅モリシタビル 7F 名古屋駅 徒歩5~7分程度
11月21日(土)		

## 8) 修了要件および履修証明書・修了証の発行について

約 65 時間の講義出席状況および修了試験の内容を評価し、評価基準を満たした方は、一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター 発行「SANE 修了証」をお渡します(2027年3月送付予定)。なお、修了証を紛失された場合等、再発行を希望される場合は再発行料(税込 2,000 円)が別途必要になりますので、お手元に届いた後は、大切に保管ください。

#### <SANE-J 認定制度について>

本プログラムは、一般社団法人日本フォレンジック看護学会日本版性暴力対応看護師(Sexual Assault Nurse Examiner-Japan: SANE-J)認定制度に受験に必要とされる教育カリキュラムに沿っており、修了認定者は受験申請が可能となります。

詳しくは、一般社団法人日本フォレンジック看護学会ホームページをご確認ください。

[https://jafn.jp/?page\\_id=1990](https://jafn.jp/?page_id=1990)



## 9) 出席状況について

原則、全日程参加です。

各講義の遅刻・早退は30分未満とし、それを超える場合は欠席とみなします。

2日(合計16時間)を超えて欠席する場合は、SANE修了証は発行されません。

欠席が2日(16時間)以下であり、SANE修了証を希望する場合は、別途、動画視聴の上でレポート課題などが課せられる予定です。(一部動画視聴不可の講義もあります)

## 10) 修了条件について

各単元での小テストの実施、また、講義全体の中でSANE実践に向けての行動計画(病院拠点型ワンストップ支援センター(OSC)設置に向けたアクションプランなど)を立案し、プレゼンテーションを実施します(変更の可能性あり)。内容をレポートにまとめ、講義担当教員が評価し、いずれもC評価以上を修めることを修了要件とします。

※詳細は受講決定後に配布する「受講の手引き」に記載します

## ◆申込から修了までの流れ(簡易版)

流れ		月日	内容
1	申し込み	2026年6月15日(月) ～7月27日(月)	専用フォームよりお申し込みください。
2	選考		
3	受講者発表	8月24日(月)頃	メールにてお知らせします。
4	受講料入金	8月24日(月)頃～9月8日(火)	指定された銀行にお振込みください。
5	資料受取	入金確認後	講義で使用する資料は、原則データ配布です。事務局から郵送するもの以外は、ご自身で指定の方法によりダウンロードください。
6	事前ガイダンス	受講決定された方へ 詳細をご案内いたします	オンデマンド配信による動画視聴
7	講座受講	2026年10月3日(土) ～2027年1月10日(日)	※Zoomによるオンライン配信 ※11/20もしくは11/21のRIFCR™研修のみ、 会場集合型での開催です。 【会場:モリシタビル】
8	終了認定	2027年1月末頃	
9	修了証発行	2027年3月末頃	

## ◆受講申し込みについて

### 1) 受講資格

性暴力救援センターなど性犯罪、性暴力被害者のためのワンストップ支援センター等で実践予定である看護職(愛知県外の方も受講可)

### 2) 申込期間

2026年6月15日(月)～ 7月27日(月)

※7月27日時点で申込者数が定員に達していない場合は、書類受付期間を下記の通り延長します  
8月3日(月)中

### 3) 申込方法

専用フォームよりお申し込みください。(前回までと申し込み方法が変わりました)

<https://nfhcc-econnect.learning-ware.jp/sales/apply/top?id=6dc32ae01ea2417f37f28b4acb7079d3d20ab741b88a9862fa06be0ed64af44f>



※一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンターホームページ内のSANE研修特設サイトの申込フォームからお申し込みいただけます。  
<https://nfhcc.jp/sane-program2026/>

※フォームでの入力時、下記書類を添付いただきますので、データ(PDF・JPEG等)のご準備をお願いいたします。

- ①看護師(婦)免許証のコピー  
(証明書、免許証が旧姓で記載されている場合は、申し込みフォームの旧姓欄に必ず記載ください。)
- ②リフカー研修の修了証(過去に受講された方のみ)

### 5) 選考料：無料

### 6) 選考方法：

申請データに基づき選考します。  
(応募者多数の場合、本養成プログラムの受講が業務上必要な方を優先して選考します)

### 7) 受講者発表：2026年8月24日(月) 予定

選考結果をメールにて通知いたします。

### 8) お支払い

- ・指定の口座に【9月8日(火)】までにお振込みください。
- ・個人ではなく、病院等からのお振込み(法人払い)または複数名まとめてのお振込み(まとめ払い)をご希望の方は、専用フォームより名簿(Excel・指定書式)をご提出ください。
- ・事務局よりご請求書を指定の方法(メールでPDF添付・郵送)で発行いたします。
- ・詳細、指定書式のダウンロードは「SANE2026特設サイト」よりご確認をお願いいたします。

<https://nfhcc.jp/sane-program2026/>



## ◆講師紹介

### ■主任講師



長江 美代子 (ながえ みよこ)

一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター 代表理事  
精神看護専門看護師(American Nurses Credentialing Center:  
ANCC 認定)公認心理師、日本版性暴力対応看護師SANE-J

名古屋市立大学看護短期大学部看護学科卒業(1991年)後、名古屋第二赤十字病院で1996年12月まで看護師として勤務。1997年8月からThe University of Illinois at Chicago, College of Nursingで看護学修士および博士(Ph.D)を取得した。2005年帰国後は大学で精神看護学を担当する。そのかわり、女性と子どものヘルプラインMIEとともに、DV被害女性とその子どもの支援にかかわってきた。暴力被害者のPTSD回復に取り組むにつれて性暴力被害の深刻さを知り、2016年1月、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院との協同により「性暴力救援センター日赤なごや なごみ」立ち上げ、運営にかかわってきた。2023年3月で日本福祉大学看護学部を定年退職後も、「一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター」(2013年に開設した任意団体「女性と子どものライフケア研究所」を2019年法人化)をトラウマケア拠点として被害者支援活動を継続している。

### ■主任講師



片岡 笑美子 (かたおかえみこ)

一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター 代表理事  
日本版性暴力対応看護師 SANE-J  
性暴力対応看護師 (SANE:Sexual Assault Nurse Examiner)

1976年名古屋第二赤十字病院(現:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)に就職。2005年日本福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネジメント修了、2006年に看護部長、2010年より副院長兼看護部長として2017年まで勤務。2014年性暴力に関する講演を機にワンストップ支援センター設立に向けた活動を開始した。性暴力対応看護師(SANE)養成プログラム2015を受講し、2016年1月にSANEを活用した病院拠点型の性暴力救援センター日赤なごやなごみ(以下なごみ)を開設した。SANEとして活動しながら多機関多職種連携による性暴力被害者支援体制を整備し、人材育成、性暴力の教育啓蒙活動に取り組んできた。2019年6月一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンターを立ち上げ、全国に病院拠点型ワンストップ支援センター設置拡充に向けて活動している。

## ■担当講師（※主任講師以外）

登壇日	講師・団体名	肩書
2026年 10/3、10/4	中島 幸子	NPO 法人レジリエンス 代表理事
	西山 さつき	NPO 法人レジリエンス 代表理事
10/17	丸山 洋子	NPO 法人つなぐ理事、名古屋市中央児童相談所主査、児童精神科医
	安間 優希	NPO 法人 PROUD LIFE 代表理事
	丹羽 咲江	咲江レディースクリニック 院長・産婦人科医
10/31	館理江	日本福祉大学看護学部看護学科助教
	田中 嘉寿子	弁護士
11/14	加納 尚美	茨城県立医療大学学外共同研究員
	中里 恵	市立函館病院 外来看護科長
	新井 香奈	ファンドレーザ・キャリアコンサルタント
	山田 浩史	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医師 性暴力救援センター日赤なごやなごみ 副センター長
	木全 和巳	日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授
11/20、21	山田 不二子	認定 NPO 法人チャイルドファーストジャパン 理事長・医師
	斉藤 美紀	NPO 法人あいちCAP プラス 理事長・助産師
	今西 洋子	社会福祉士・修士(教育)
12/5	犬飼 千絵子	犬飼法律事務所 弁護士
	船山 健二	新潟県立看護大学 講師
	加藤 直子	医療法人葵鐘会ロイヤルベルクリニック 看護師長・助産師
	服部 律子	奈良学園大学 副学長 保健医療学部看護学科 教授
12/19	小笠原 和美	慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員
	愛知県警察	刑事部 捜査第一課、鑑識課 等 担当者
	加藤 秀章	名古屋市立大学大学院医学研究科法医学分野 准教授
2027年 1/9	笹原 艶子	かけこみ女性センターあいち 専従
	奥川 ゆかり	浜松医科大学大学院非常勤講師
	他、演習担当講師	
1/10	野口 靖之	プライベートケアクリニック名古屋栄院長

※上記は予定であり、都合により変更になる場合があります。

# ◆スケジュール

NO	講義日	実施形態	講	時間	担当	タイトル	授業内容		備考	
1	2026年 10月3日 (土)	オンライン	1	9:30-11:00	長江 美代子	性暴力被害者支援の基本理念と 支援の在り方	オリエンテーション フォレンジック看護の概要	●		
			2	11:10-12:40	片岡 笑美子		病院拠点型ワンストップ 支援センターの現状と課題	●		
			3	13:40-15:40	NPO法人 レジリエンス	性暴力に関する基礎講座(SAFER101)、 DV被害について	DVと性暴力(SAFER101)	●		一般参加 あり
			4	15:50-17:20				●		
2	10月4日 (日)	オンライン	1	9:30-11:00	NPO法人 レジリエンス	アタッチメントと解離、トラウマを理解する	トラウマを抱えた子どもたちの支援	●		
			2	11:10-12:40				●		
			3	13:40-15:40	NPO法人 レジリエンス	アタッチメントと解離、トラウマを理解する	トラウマを抱えた子どもたちの支援	●		
			4	15:50-17:20				●		
3	10月17日 (土)	オンライン	1	9:30-11:00	丸山 洋子	児童思春期の性被害対応とケア	児童相談所における 性的虐待ケースの分析、脳への影響	●		
			2	11:10-12:40	安間 優希	ジェンダーの視点と 多様な心理社会的課題	支援が行き届かない 性暴力被害者の理解(LGBTIQ)	●		
			3	13:40-15:10	安間 優希	ジェンダーの視点と 多様な心理社会的課題	支援が行き届かない 性暴力被害者の理解(LGBTIQ)	●		
			4	15:20-16:50	丹羽 咲江	被害の影響	女性への暴力と医療 性教育の重要性について	●		
			5	17:00-18:30				●		
4	10月31日 (土)	オンライン	1	9:30-11:00	館 理江	フォレンジック看護の倫理	被害者のケアにおける 職業的・倫理的行動	●		
			2	11:10-12:40	田中 嘉寿子	性暴力と法的検討事項	性犯罪捜査の問題点 及び改正刑事法の解説	●		
			3	13:40-15:40	田中 嘉寿子	性暴力と法的検討事項	性犯罪捜査の問題点 及び改正刑事法の解説	●		
			4	15:50-17:20				●		
5	11月14日 (土)	オンライン	1	9:30-10:30	加納 尚美	地域機関との連携	多機関多職種連携 多職種連携SARTチーム	●		
			2	10:40-11:40	中里 恵	SARTチームの実践		●		
			3	11:50-12:50	新井 香奈	SANE活動の実践に向けて	アクションプランの作成、計画を実行 に移すプロセス	●		
			4	13:50-15:20	山田 浩史	支援が行き届かない性暴力被害者の理解	男性被害者の理解	●		
			5	15:30-17:30	木全 和巳	しょうがいとセクシュアリティ	女性への暴力の社会的背景と実態	●		
6	11月20日 (金) or 11月21日 (土)	対面 (モリシビル) 名古屋駅 徒歩5分	1	9:30-12:30	NPO法人 チャイルドファースト ジャパン	アセスメントと支援 (子どもの性虐待の概要)	RIFCR™(リフカー)研修	✖	一般参加 あり	
			2							
			3	13:30-19:00	NPO法人 チャイルドファースト ジャパン	アセスメントと支援 (被害児の反応と危機介入、通告)	RIFCR™(リフカー)研修	✖	一般参加 あり	
			4							
7	12月5日 (土)	オンライン	1	9:30-11:00	犬飼 千絵子	性暴力と法律	関連法律の基礎:訴訟、法的補償、 秘密、SANEに必要な法知識	●		
			2	11:10-12:30				●		
			3	13:30-15:00	舩山 健二	支援が行き届かない性暴力被害者の理解	受刑者、高齢者、障害者、言語・コミュ ニケーションの障壁をTU対象者の 心理社会的課題	●		
			4	15:10-16:10	加藤 直子	性教育の重要性 ～いのちを未来につなぐ～	SANE性教育の実際	●		
			5	16:20-17:20	服部 律子	若者の生と性を考える		●		
8	12月19日 (土)	オンライン	1	9:30-11:00	小笠原和美	子どもを性被害から守る	性犯罪を取り巻く情勢の変化と 警察への届出の意義	●		
			2	11:10-12:10	愛知県警察	支援の実際	警察の役割と対応	✖		
			3	13:10-15:30	加藤 秀章	身体的アセスメント	医学的証拠採取、記録、性犯罪・DV、 SANEのフォレンジックアセスメント	●		
			4	15:40-17:50		法医学的証拠とケア	医学的証拠採取、記録、 法医学的写真撮影	●		
9	2026年 1月9日 (土)	オンライン	1	9:30-10:30	長江 美代子	アセスメントと支援の実際	PTSDのアセスメント	●		
			2	10:40-12:10	笹原 艶子		協働、社会資源、相談窓口	●		
			3	13:10-15:10	奥川ゆかり	アセスメントと支援の実際	ケアと持続:演習	✖		
			4	15:20-18:20				●		
10	1月10日 (日)	オンライン	1	9:30-10:30	野口 靖之	アセスメントと支援の実際	性暴力被害者支援で必要とされる 性感染症に関わる基礎知識	●		
			2	10:30-11:00	長江 美代子		尺度を活用したPTSD心理教育	●		
			3	11:10-12:40	片岡 笑美子	支援の実際、まとめ、今後に向けて	病院拠点型におけるSANE実践	●		
			4	13:40-		アクションプラン発表	各課題の認識、共有 および今後の計画を報告	✖		
			5	17:00		(受講人数により終了時間が変動します)				

☹:「×」は振替(講義録画)不可です。

※上記は予定であり、変更する場合があります

# ◆性暴力対応看護師(SANE)養成プログラム 2026 シラバス

研修名	性暴力対応看護師(SANE)養成プログラム 2026	
テーマ	暴力・倫理・法にかかわる看護の課題 暴力を経験した小児／思春期／成人の対象に対するケア	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; ①性暴力被害者②全人的・包括的ケア③クリティカルシンキング ④フォレンジック⑤地域機関との連携</p> <p>&lt;内容の要約&gt; DVや性暴力被害者に、全人的・包括的なケアを提供するために必要な基本的知識とクリティカルシンキング能力を習得する。具体的には、フォレンジック看護、性暴力被害者のケアの背景、暴力の構造と性暴力の力学、被害者の反応と危機介入、アドボケイト、緊急医療処置、法医学に基づく臨床科学、法医学的既往の聴取法、地域機関との連携、中長期ケアとフォローアップについて学ぶ。討論、模擬事例、ロールプレイ、視覚的教材、体験学習を活用したスキルトレーニングを含む。</p> <p>&lt;学習目標&gt; 1. 人のライフスパンにおける犯罪や倫理にかかわる課題への対応と実践を看護過程に組み込むことができる。 2. 性暴力に関連する被害の聴取をアドボケイトとして二次被害に配慮し、正確、客観的、簡潔に行うために必要なスキルを習得できる。 3. 被害者のケアに関与する多職種チームの中で、効果的に関わり協力するための基本的な知識を習得できる。 4. 被害者の生物学的証拠・痕跡証拠のニーズに対して、被害者中心のアプローチを提供する看護師の役割を説明できる</p>	
講義の内容	①オリエンテーション／フォレンジック看護の概要	1.5時間
	②病院拠点型ワンストップ支援センターの現状と課題	1.5時間
	③DV と性暴力(SAFER101)	3.5時間
	④トラウマを抱えた子どもたちの支援	6.5時間
	⑤児童相談所における性的虐待ケースの分析、脳への影響	1.5時間
	⑥関連法律の基礎:訴訟、法的補償、秘密、SANE に必要な法知識	3.0時間
	⑦女性への暴力と医療／性教育の重要性について	3.0時間
	⑧被害者のケアにおける職業的・倫理的行動	1.5時間
	⑨性犯罪捜査の問題点及び改正刑事法の解説	5.0時間
	⑩RIFCR™研修	8.5時間
	⑪地域の多機関多職種連携、多職種連携 SART チーム	3.0時間
	⑫受刑者、高齢者、障害者、言語・コミュニケーションの障壁を持つ対象者の心理社会的課題	1.5時間
	⑬女性への暴力の社会的背景と実態	2.0時間
	⑭支援が行き届かない性暴力被害者の理解(LGBTIQ)	2.5時間
	⑮SANE 性教育の実際	2.0時間
	⑯男性被害者の理解	1.5時間
	⑰性犯罪を取り巻く情勢の変化と警察への届出の意義、および警察の役割と対応	2.5時間
	⑱医学的証拠採取、記録、性犯罪・DVSANEのフォレンジックアセスメント	⑱、⑲合わせて 4.5時間
	⑲医学的証拠採取、記録、法医学的写真撮影	
	⑳協働、社会資源、相談窓口	1.5時間
㉑性暴力被害者支援で必要とされる性感染症に関する基礎知識	1.0時間	
㉒ケアと持続:演習	5.0時間	
㉓病院拠点型におけるSANE 実践	3.0時間	
○その他、アクションプランの発表、修了試験(※)		

時間数	講義:60.5 時間、演習:5 時間計 65.5 時間相当(※修了試験時間含まず)		
事前学習の内容 学習上の注意	テキストや配布物は講義予定の内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 演習・講義には、質問・意見・感想を述べるなど、積極的に参加する。 学んだ理論を臨地におけるトピックスに適用し実践に生かす視点を持つ。		
テキスト	フォレンジック看護(医歯薬出版)		
参考文献	講義内で別途指示する		
修了要件	項目	条件	成績評価
	【1】出席	全日程出席 *各講義の遅刻・早退は30分未満、 それ以上の場合は、欠席扱い	—
	ㄥ 欠席の場合 (動画視聴+課題提出)	2日程(16時間)まで補講可 *動画撮影不可で補講不可の講義もあり	○
	【2】アンケート	全講義分提出	—
	【3】アクションプラン提出	期限までに決められた形で提出	○
	【4】アクションプラン発表	1/10に発表	○
成績評価基準	講師が評価し、C 評価以上を修めることを修了要件とする。 (評価区分 A:90 点以上 B:80~89 点 C:70~79 点 D:70 点未満)		
修了証	(一社)日本フォレンジックヒューマンケアセンターの SANE 修了証を発行する		